

紙面から

教育随想

「寺小屋を復活しては？」

大樹寺貫主

東海学園大学講師

中村 良観氏

羅 針 盤

「豊かな心を育てる」

北野小学校長 大水 治

この人に聞く

愛知県カヌー協会理事長

岡田 恵空氏

特集

「忘れまい 伊勢湾台風」

ふれあい

「A子の成長」

矢作北中学校 星野 澄子

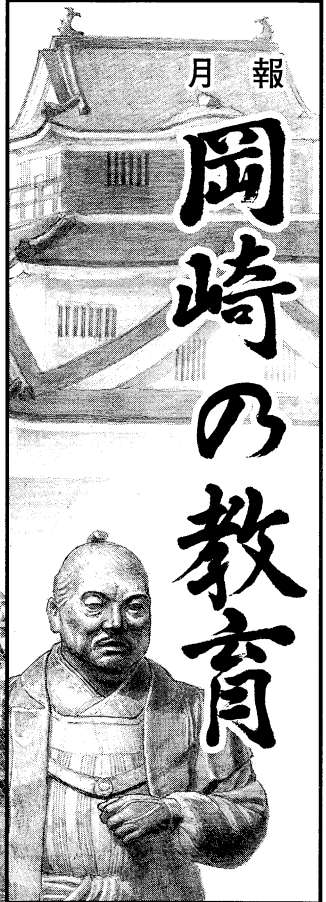
師弟同行

元矢作北中学校長 加藤 憲尚

北中学校 大岡 久芳

フォト・ヒストリー岡崎の教育

理科研究発表会(昭和四十五年)



9月号

平成12年9月1日

発行/編集
岡崎市教育委員会

今月の学校紹介
～東海中学校～



今この時 君は輝く

我々は大きな生命の流れの中で、天地の恵みを身体一杯に受けて、今、此処に生かされて生きている。而もこの世に存在するものは、何一つとして変化しないものはないのです。いや、この無常と転変・生滅の中にもこそ生成も発展もある訳ですから、何かを変らせまいとする希いや努力も尊くはあるが、変化に応じ時宜に



適した対応こそ重要ではないかと思われまふ。

いかなる環境の変化にもたじろがない人間を育成する所に、教育の原点が求められる訳ですが、物事の本質を離れてまでも時流に従うべきではないのです。教育の面で大切なものは、先ず人間性の省察と把握、即ち人は何処から来りどこに去るのか？

何を為すべきかと云う根本課題への問いかけと、いのちの尊さへの気づきを離れて真の教育は考えられない。人間に生れたからとて人間である訳ではない。人間によって育てられる事がなければ本当の人間にはなれないと思うのです。従って教育に携る者はすべからく彼自身が先ず本当の人間であらねば

— 教育随想 —

寺小屋を復活しては？



主 貫 寺 大 樹
学 園 大 学 講 師
東 海 学 園 大 学 講 師
中 村 良 観

ならない。教育は知識の押しつけでも切り売りでもなくて、まさに人間の真実と生命の尊厳性を知らしめるものでありたい。然し教師は必ずしも完全である必要はない。いやむしろ自分の不完全さを知るこそ、人間の真実といのちの尊厳性を知る者と云わねばならない。

教育の基本が道徳性Ⅱ正邪善悪の

探究であつてみれば、道徳倫理の根底に潜む宗教心が見えて来なければならぬ。「仏道を習うと云うは自己をなう也、自己を習うと云うは自己を忘るるなり」とあるが、「宗教心のない教育は賢い鬼をつくる」と云われる通り、知識偏重の教育はまさに危険な暴君を育てるだけではなからうか。

又思いやりの情操と道徳性豊かな連帯感が教育の基盤であるとすれば、知識のつめ込みに終始する学習塾に子供を任せてはおけない。誰のせいでもない。自分の生き方に責任を持ってよ！と叫びたい。それには親と子が、教師と生徒とが感動を共有する事だ。親と子が生命をかけて呼び交わして生きる時、近頃の日本に見られる社会問題の多くは影をひそめる筈だ。道徳体系の混乱も一つには、宗教家や精神指導者の怠慢と責任回避に由るものと云えようか。

二十一世紀を心の時代と位置づけるならば、日本中の寺院を開放して寺小屋を復活しては如何？。流れを汲む者その源を知るべし。源を知ると人何んぞ流水を濁さむや。気づきと願いを以て共生への一歩を踏み出したい。

(なかむら りょうかん)

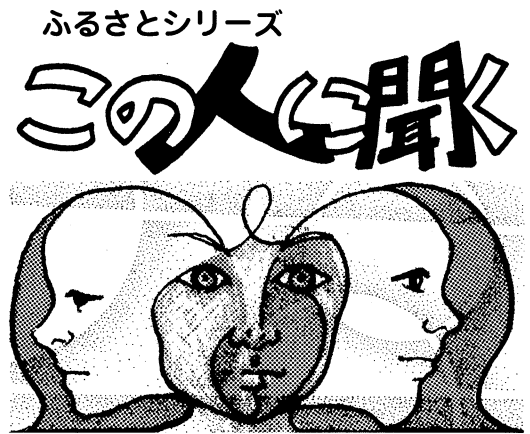


豊かな心を育てる

北野小学校長
大 水 治

最近、青少年による悲惨な事件が目立つ。これらの事件には「普通の子」による「いきなり型」という共通点がある。「普通の子」とはどんな子なのだろうか。それは、教師にとって学習や生活に手のかからない子、教師の目にふれることの少ない子と言えよう。そこで私たちは次の二点について、自らを問いただしてみなければならぬ。

その一つは、「普通の子」は問題となる行動を起こす前にサインを発しないのかという問いである。「普通の子」であつても事前に心身の不調を訴えたり、他に対して攻撃的な行動を見せたりするなどの前兆によりサインを送っていると思う。教師や親を含めた私たち大人がそれを見逃したり、あるいはそのことから目を背けたりしていることに問題があ



愛知県カヌー協会理事長

岡田 恵空 氏

岡崎市の最北端を流れる巴川。ここに市内唯一の「岡崎カヌー練習場」がある。市内から集まってくる中高校生を相手に指導される岡田さんは、愛知県におけるカヌー競技の草分けであり、現在も愛知県カヌー協会の理事長を務めておられる。

岡田さんがカヌーを始められたのは大学入学と同時に（昭和三十八年）である。三年生の時には、日本選手権大会や学生選手権大会で優勝し、全日本チャンピオンになられた。その後、東京での学生生活を終えて岡崎に戻ると、今度は指導者として愛

知県カヌー協会を設立し、岡崎を中心に県内でのカヌーの普及と指導に当たってこられた。岡田さんにカヌーの魅力についてお聞きした。

「カヌーは自然のスポーツです。自然の環境によって漕ぎ方が違ってくるところがおもしろいですね。それからスマートで見た目の美しさもあります。細長いカヌーが水辺に浮かんでいる姿は美しいものです。『乗って楽しく、見て美しい』というのが、カヌーの魅力でしょうか。」

日本カヌー連盟のカヌーポロ委員長も務める岡田さんは、カヌーの本場であるヨーロッパなど多くの国へ視察に出かけられている。ヨーロッパと日本の違いについて次のような話をしてくださった。

「カヌーは、競技として考えなければ、年を取っても楽しめるスポーツです。子供や孫を連れて、家族でカヌーを楽しめるといいですね。ヨーロッパでは、ボートハウスに家族でやって来て、子供からお年寄りまで楽しんでますよ。」

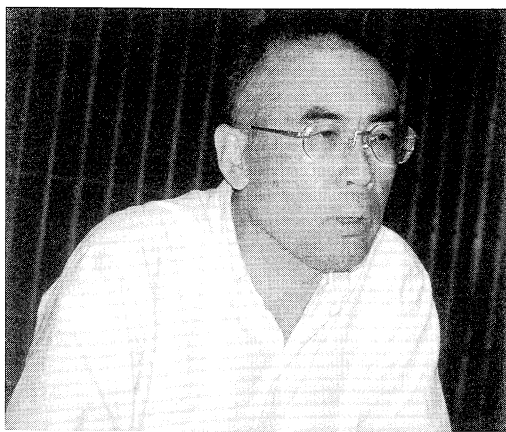
愛知県カヌー協会も昨年で二十五周年を迎えた。この間、多くの選手を育て、中には国際大会で活躍する選手もいる。岡田さんに指導者とし

ての思いを語っていただいた。

「競技での勝敗よりもマナーの向上を望んで指導をしています。将来社会へ出ていくためのマナーが大切なので、マナーの良さと表彰される選手が出たときは、うれしいですね。」

競技で入賞できなくても、三年間カヌーを続けた生徒には自作の賞状を渡し、表彰されている。そこには、カヌーの普及と青少年の育成に情熱を燃やし続ける岡田さんの姿が見られた。

氏名 おかだ えくう
生年月日 昭和十九年八月二十八日
住所 松本町二丁目七十一番地



るように思う。

二つ目に問わなければならないことは、子供の行動の裏面に目を向けているかという問いである。子供に限らず人の行動には必ず理由がある。もちろん理由があるからといってすべての行動が正当化されるわけではないが、指導するという立場に立つと、その理由の部分に触れていかなければ効果はあまり期待できないと思う。

健全な心身をもつ子供の育成は教育の普遍的な課題である。しかし時代が変わり人の心が動いた今、子供たちに求められている心は、生命や人権を大切に「人間尊重の心」、自分の意志で行動しようとする「自立の心」、他を思いやり協力し合う「かかわりの心」、美しいものや崇高なものに感動する「豊かな感性」である。

子供の豊かな心は、豊かな心をもった教師との心の交流を通して育つと考える。様々な思いをもって登校してくる子供たち。一人一人の子供の思いや願いを確実に受けとめ、適切な支援のできる教師であらねばならない。そのために私たちは今まで以上に研修を重ね、子供理解に努めていきたい。



(【中部日本新聞】より)

昭和三十四年九月二十六日、愛知県に未曾有の被害をもたらした台風十五号（伊勢湾台風）は、岡崎市にも深いつめ跡を残した。死者二十五名、負傷者百二十六名、全壊家屋九百十戸と市始まって以来の大きい被害であった。市内の全小中学校（四十三校）でも、屋根や天井が飛ばされたり、窓ガラスが破損したり、樹木が倒れたりした。葵中での被害は、当時の金額で総額約八百万円、根石小では、かわらが二千三百十四枚破損するなど、被害は甚大であった。当時を振り返った記述がある。

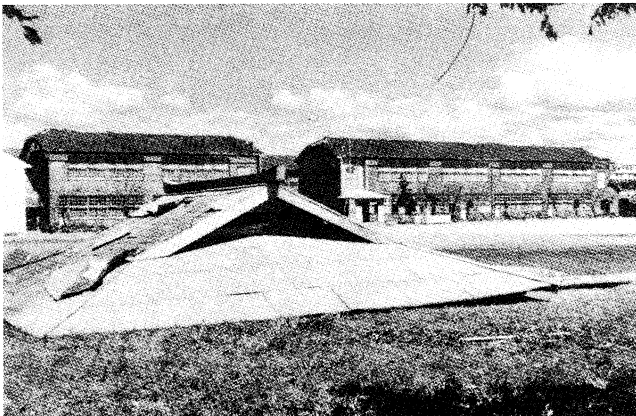
「この日、あいにく私は宿直当番になっていた。夜半から猛烈な風雨となり、停電となった。教室のあちこちでガラスの割れる音、かわらの飛ぶ音、風がうなるたびに校舎がきしみ、手の出しようがない。」（香山中沿革史より）
 想像を絶する被害にぼう然としながらも、各校とも教師、児童、生徒による復旧作業が開始された。散乱したかわら拾い、トタン運び、ガラスの片付けなど、全校が一丸となって、学校の立て直しに当たった。

伊勢湾台風から四十一年。時とともに、その恐ろしさは風化され、当時のことを知る人も少なくなった。改めて台風の脅威を考え直すとともに、学校復旧のために全力を尽くした教師や子供たちがいたことを伝えたい。

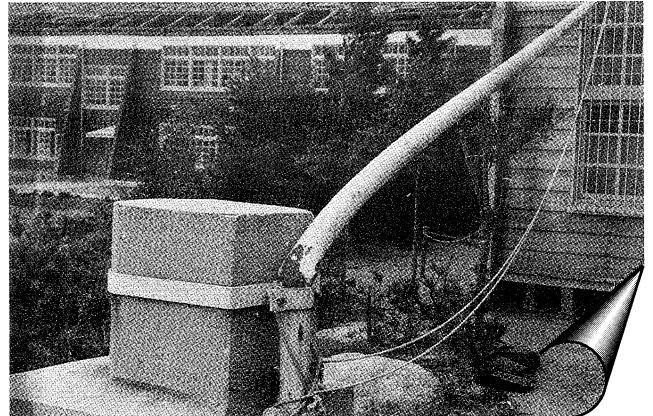
伊勢湾台風後の学校の主な動き

- 9 / 27 (日) ・ 市教委被害状況視察（全小中学校）
- 28 (月) ・ 四年生以上作業、三年生以下は家庭学習（六名小）
 ・ 全国統一学力テスト中止（全小中学校）
- 29 (火) ・ 給食開始（広幡小）
 ・ 学区被災家庭訪問（竜谷小）
 ・ 運動会中止（愛宕小）
- 10 / 4 (日) ・ 市よりかわら二百五十枚到着（藤川小）
- 6 (火) ・ 市教委より机・いす新品五十人分到着（山中小）
- 12 (月) ・ 平常授業開始（三島小）

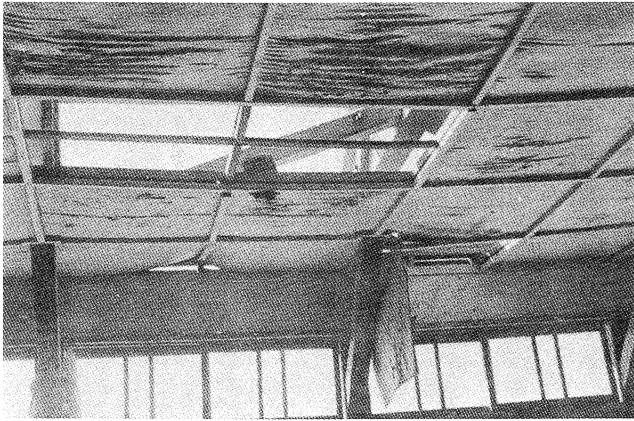
(「学校日誌・沿革史」より)



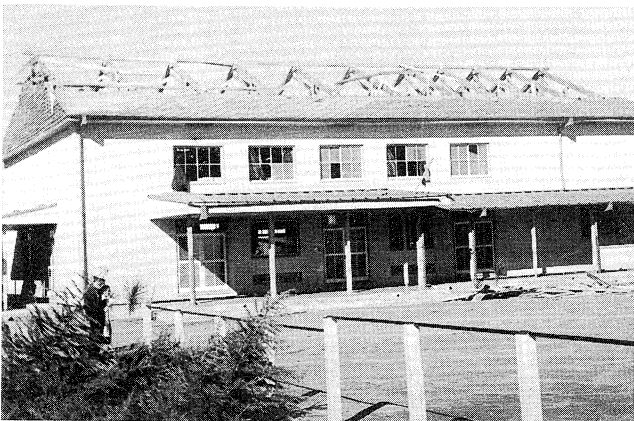
▲つぶされた相撲場（羽根小）



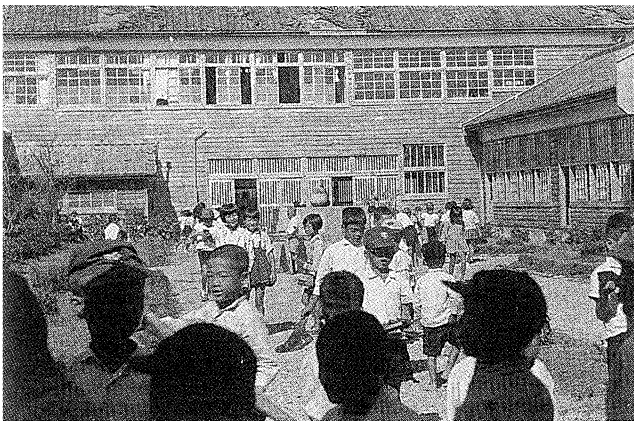
▲大きく曲がった掲揚塔（葵中）



▲青空が見える天井（常磐中）



▲屋根が吹き飛ばされた講堂（六ツ美北部小）



▲散乱物を片付ける児童（井田小）



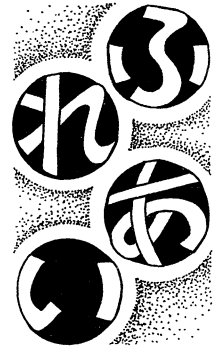
▲かわらを運び上げる生徒（美川中）



▲全校で片付け作業（矢作中）



▲がれきを片付ける生徒（附属中）



A子の成長

矢作北中学校

星野 澄子

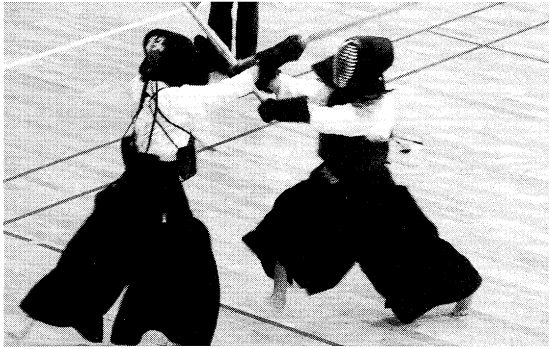
剣道部員のA子と出会ったのは昨年の四月。練習には参加しているものの、どこか無気力で主体性のない生徒。それがA子の第一印象だった。

二年生が中心の部活となった夏休み。目標を持って部活に参加してほしいと考え、練習ごとに全員に反省を書かせた。私自身も毎回朱書きを入れて励ました。また、練習中の声かけも意識して行い、特にA子には具体的に良いところを褒めるよう心掛けた。

「A子さんの面はタイムリングがいいね。真つすぐできれい。」

うれしそうな笑顔が返ってくる。A子の反省内容の質も次第に高まってきた。

「いつか一級を取りたい。」



十一月の審査にA子は受検した。仲間のほとんどが合格するなかで、A子は不合格。A子の性格からすると、もうあきらめてしまおうかも……。そんな心配をしていたある日、A子が私に話しかけてきた。「先生、次の審査は何月。」そして、今年の四月。A子は見事、合格した。三年生の受検はA子ただ一人であった。「一人ですごく不安だったけど受けて良かった。一年前と比べて、技術面も精神面も断然進歩したと思う。」ノートから読み取れるA子の成長に私の胸も熱くなった。

師弟同行

細やかな心配り

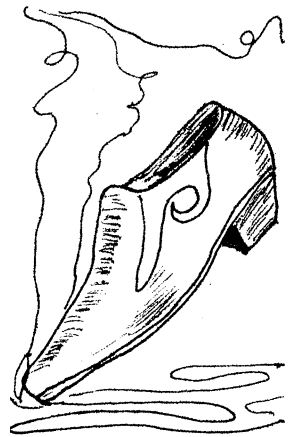
北中学校

大岡 久芳

先生、昨年の文部大臣表彰（視聴覚教育功労者）、誠にありがとうございます。

私が小学校六年生の時、担任だった先生に、当時にしては珍しい八ミリ映画をよく見せていただきました。白黒テレビがようやく普及したところで、教室で映される大きな画面に興奮したものでした。

私が教員となったころ、先生は視聴覚教育指導員としてご活躍でした。私は地学サークルで自作ビデオの制作にかかりました。お会いしたとき励ましの声をかけてくださり、先生と一緒に仕事ができる喜びを感じたものでした。そして、喜びが絶頂となっ



たのは、昭和六十二年からの二年間、城北中学校で一緒にさせていただいたときです。

先生は教頭として細やかな心配りで、職員や学区の方々と接していらつしゃいました。

今、私は北中学校の教頭を務めています。先生がよくおっしゃっていた「ホウ（報告）・レン（連絡）・ソウ（相談）」という言葉の大切さを痛感しています。これからもご指導、よろしくお願い致します。

縁の深さ

元矢作北中学校長

加藤 憲尚

私は教職五年目にしてようやく岡崎市で勤務できるようになりました。その最初の学級に大岡君がいたのです。卒業文集「98のひとみ」の編集

委員として、ガリ版印刷に精を出していた姿が、不思議と記憶に残っているのです。

そんな大岡君が先生となり最初に赴任したのが岩津小学校でした。そこへ私は視聴覚指導員として訪問しました。学級通信「で虫」を毎日発行し、すばらしい学級経営をしておられ、大変うれしく思いました。

理科の自作ビデオ教材づくりに意欲的に取り組まれ、グループで優れた教材を制作されたことも忘れがたいできごとでした。

城北中と一緒に過ごしていた時は、生徒指導主事として活躍してくれました。

縁の深さは不思議なもので、私の最後の勤務校となった矢作北中学校は、お子様の通う学校でした。奥様には、PTA役員をやっていたご助かりました。

教頭職は大変です。しかし、岡崎をリードする立場に立てれる日も近いと思います。健康には十分留意され、ご精進なさってください。



◆新しいALT来日
七月に任期を終えた、スーザン先生、ローラ先生、ジョー先生、コートニー先生の替わりに、三名のALTが来日した。二学期からの活躍を期待したい。

- ・ヘレン・L・クラブトゥーリー (カナダ出身)写真右
- ・プラサング・B・ラナウエーラ (イギリス出身)写真中央
- ・ティモシー・C・ブローワー (アメリカ出身)写真左



お知らせ

◆全国中学生カヌー大会
二年生C-1
優勝 新香山中 川島慎太郎
二位 新香山中 齊藤 礼未

◆ラジオ番組部門
最優秀 テレビ番組部門
常磐中学校

優 秀 矢作中学校
・ラジオ番組部門
城北中 板倉 麻衣

朗読部門
優 良 矢作中 山本 智子
常磐中 河口裕美子

放送コンテスト愛知県大会
入 選 城北中 西久保優羽
・アナウンス部門
優 良 城北中 市川亜佑美
・陸上競技
大会(陸上・水泳・相撲)

◆第十七回NHK杯全国中学校
放送コンテスト愛知県大会
三位 新香山中 水越 健次
・一年生C-1

◆中学校総合体育大会・全国
出場者
男子三〇〇M 竜海中 伊藤正人
男子三種競技 東海中 畔柳宏平
・水泳競技
男子四〇〇M 竜海中

優 秀 矢作中学校
高木・鈴木・早川・柳
男子一〇〇M 矢北中 尾崎 勇
男子二〇〇M 附属中 山田昌亮
・相撲
附属中 森下弘康
附属中 野村賢寛
附属中 野村泰資

●平成12年度岡崎市小学校体育大会

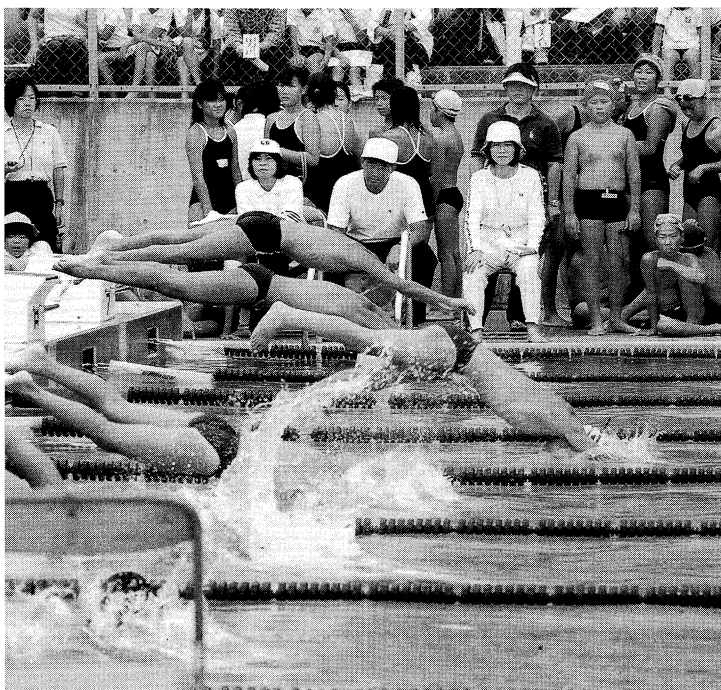
種 目	性	優 勝	2 位	3 位	
ソフトボール	男	梅園	岡崎	竜美丘	
	女	連尺	梅園	城 南	
バレーボール	男	矢作北	矢作東	上 地	
	女	上 地	矢作北	井 田	
バスケットボール	男	梅園	矢作東	六 名	
	女	井田	矢作東	美 合	
サ ッ カ ー	男	上 地	岩 津	井 田	
	女	大樹寺	矢作東	矢作北	
水 泳 競 技	北ブロック	男	大樹寺	附 属	
		女	広 幡	附 属	
	南ブロック	男	三 島	六 名	山 中
		女	三 島	六 名	竜美丘

●第53回岡崎市中学校市長杯総合体育大会

種 目	性	優 勝	2 位	3 位
陸 上 競 技	男	東 海	竜 南	六ツ美北
	女	六ツ美	矢 作	矢作北
バスケットボール	男	城 北	竜 海	竜 南
	女	竜 海	南	竜 南
バレーボール	男	矢作北	竜 南	東 海
	女	矢作北	北	城 北
軟 式 庭 球	男	河 合	福 岡	六ツ美北
	女	額 田	竜 海	福 岡
卓 球	男	六ツ美北	額 田	幸 田
	女	矢 作	額 田	竜 南
体 操	男	甲 山	竜 海	南
	女	矢作北	東 海	南
新 体 操	男	甲 山	東 海	矢 作
	女	甲 山	額 田	城 北
剣 道	男	六ツ美北	額 田	常 磐
	女	葵	竜 南	六ツ美北
ハンドボール	男	葵	竜 南	六ツ美北
	女	竜 南	葵	六ツ美北
軟 式 野 球	男	東 海	南	竜 南
	女	矢作北	城 北	矢 作
ソフトボール	男	甲 山	竜 南	六ツ美北
	女	矢 作	六ツ美北	竜 南
柔 道	男	新香山	南	北
	女	矢 作	六ツ美北	竜 南
サ ッ カ ー	男	新香山	南	北
	女	竜 海	甲 山	城 北
水 泳 競 技	男	竜 海	甲 山	城 北
	女	竜 海	甲 山	北

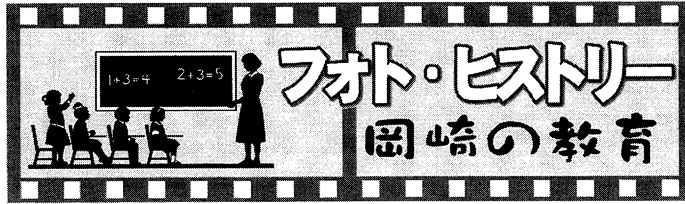
●岡崎市中学校市長杯総合体育大会総合成績

成 績	男子総合	女子総合	男女総合
優 勝	竜 南	矢 作 北	竜 南
2 位	六ツ美北	矢 作	矢 作
3 位	矢 作	竜 海	矢 作 北
4 位	甲 山	竜 南	六ツ美北
5 位	矢 作 北	六ツ美北	竜 海
6 位	南	北	甲 山



▲岡崎市小学校体育大会——水泳の部

・カ
ツ
ト
緑 丘 小 坪 井 恵 里 子



理科研究発表会 (昭和45年)



写真提供 奥殿小

写真は、昭和四十五年、奥殿小学校が市の研究指定を受け、『解決の過程を重視する理科学習』という主題を掲げて行った理科研究発表会の風景である。

当時は、調和と統一の学習指導要領実施（昭和四十六年）に向けて、市内小中学校の研究活動が活発に行われていた。全体発表、授業発表はもとより、教材・教具も展示されていた時期である。

現在、平成十四年の新学習指導要領の全面実施に向けて、「ゆとり」の中で「生きる力」をいかに子供たちに培っていか、各校で研究実践が進められている。



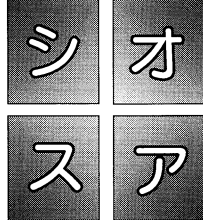
- | | |
|-------------|-------|
| *虹の谷の五月 | 船戸 与一 |
| 集英社 | ¥1900 |
| *きれぎれ | 町田 康 |
| 文藝春秋 | ¥1143 |
| *教育根 | 石川 洋 |
| サンマーク出版 | ¥1500 |
| *心の壊れた子どもたち | 町沢 静夫 |
| 朝日出版社 | ¥1400 |

- | | |
|-----------|--------|
| *こだわりを捨てる | ひろ さちや |
| 中央公論新社 | ¥1600 |

200年前の産業革命で、手工業が機械に取って代ってから、20世紀は物の豊かさや効率のよさを追求してきた。その結果、世の中が物によって振り回され、物を手に入れることが、幸福かのように思うようになってきた。

目に見える物ではなく、目に見えない心をよりどころに生きていくことの大切さに気づき出した今、300字足らずの経典、般若心経の教えを説いたこの本は、私たちに生きる道しるべとなるのではないだろうか。

恐ろしさを抱きながらカヌーに乗る初心者や、日本を代表して国際大会に出場する一流選手たち。巴川の練習場には、さまざまなカヌー愛好者・競技者が集まってくる。岡田さんの長年の努力により、岡崎でカヌーを楽しむ人が年々増えている。



史上空前の被害をもたらした伊勢湾台風は、原爆の百万個分のエネルギーを持つという。岡崎公園では五本本の桜が倒れた。わが国は常に自然の脅威にさらされている。災害はいつ、どこにくるかわからない。伊勢湾台風の教訓を決して忘れまい。

IT革命。インターネットを利用して情報を集めるために、マウスをクリックして次々とページを開いていく子供たちの手際の良さに圧倒させられる。

しかし、驚いてばかりはいられない。この秋、革命の第一波が、職員室にも押し寄せてくる。

過ぎ去った夏休みの思い出を胸にいったい詰め込んで、元気に登校する子供たち。久しぶりの再会にしほし語らう。日焼けしたその顔は、前にも増してたくましく見える。教室にも活気もどってきた。さあ、二学期だ。決意新たにスタートを切る。